



新潟工科大学の活動・存在により生まれる地域への経済効果 【1試案としてのシミュレーション】

1. 教育活動による効果(毎年度)

- ◆ 大学教育により、知識・技術などの人的能力を高めることで、地域(新潟県、柏崎)の生産活動の向上につなげている。
 <高校卒相当の知識・技術 ⇨ 大学卒レベルへ>

新潟県内の所得の増加 67.89億円

うち柏崎地域での所得の増加 9.45億円

※卒業生数に生涯賃金(公示)の差額を乗じて算出

地域への貢献

新潟工科大学が地域に対して間接的、直接的にもたらす
経済効果(1年相当)

新潟県地域へは 81 億円

うち柏崎地域へは 20 億円

※ このほか、これらから波及する経済活動の活性化や税収の増加などさらなる経済効果が見込まれる。

2. 立地(大学の存在)による消費(毎年度)

(1) 地域企業等との取引

・教育研究用器材の購入、光熱水費、建物維持料 など

新潟県内企業との取引 4.30億円

うち柏崎地域企業との取引 2.40億円

※ 企業等への支払実績から算出

(2) 在学生の生活消費

・食費、交通費、学習資料購入費 など
 ・アパート等借家の学生については家賃

新潟県内での消費 4.88億円

うち柏崎地域内での消費 4.18億円

※ 大学生の平均消費額(公示)から算出

(3) 教職員とその家族の生活消費

・衣食住に係る費用 など

新潟県内での消費 3.58億円

うち柏崎地域内での消費 3.58億円

※ 勤労者世帯の平均消費額(公示)から算出